

報告日 令和5年12月1日
報告回次 3日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	沼津市			代表者名	頼重 秀一
担当者部署	政策推進部			連絡先電話番号	055-934-4816
担当者役職	主事	担当者氏名	大胡田 悠希	連絡先E-mail	
住所	410-8601 静岡県沼津市16-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	よい
上記評価の理由（どのようになどころがよかったです等詳細に）	業務ごとの課題や今後考慮するべき点等について的確なアドバイスをいただくことで、理解を深めることができたと感じたため。
アドバイザーへの要望事項	当市の自治体システムの標準化・共通化が円滑・効果的に進められるよう、引き続きアドバイスいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年2月14日	講演	有	令和5年9月15日	909
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年11月29日	支援・助言	9時00分	12時05分	5
					活動時間（分） 180

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	○掲載可
------	------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	25 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	自治体情報システムの標準化・共通化はこれまでのシステム移行とは異なっており、国から様々な仕様書や手順書等が出されているが、その解釈等に苦労している。今年度、Fit&Gapなどを進めていくが、より効果的に進めるため、専門的な立場からアドバイスをいただきたい。また令和6年度以降の手順等もアドバイスいただきたい。・	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	自治体情報システムの標準化・共通化を進めるまでのアドバイスをいただき、より効果的・円滑にシステム移行を進めていきたい。・	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	各担当課がアドバイザと個別相談を実施することで、課題や今後考慮するべき点等について的確なアドバイスをいただいた。 Fit&Gapを行った上で洗い出されたGapが重要になるがそれに対してどう対応するのか、また新システムへの移行に失敗した場合に業務（市民サービス）を継続することを考慮するようアドバイスいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	各担当課がアドバイザと個別相談を実施することで、日頃の疑問点等を解消することができた。 また、これから契約準備を進めるに当たって、事前にGap部分を整理してから調達仕様書を作成することや、移行に失敗した場合に現行システムの延命を検討することなどについて理解を深めることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 業務多忙のため、行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

